

47年度第1回シグマ研究専門委員会議事録

日時 昭和47年4月24日(月) 11時25分~16時30分
場所 日本原子力研究所本部第2会議室
出席者 百田光雄(東北大) 飯島俊吾(NAIG)
飯島勉(原研) 五十嵐信一(原研)
大田正男(九大) 大野善久(原研)
片岡巖(MAPI) 桂木学(原研)
川島協(動燃) 木村逸郎(京大炉)
後藤頼男(原研) 坂田肇(動燃)
塚田甲子男(原研) 西村和明(原研)
能沢正男(原研) 東原義治(動燃)
更田豊治郎(原研) 松延広幸(住友)
宮坂駿一(原研) 矢野忠広(原研)

オブザーバー

岡本浩一(CCDN) 宝珠山健(MAPI)

配布資料

1. 前回(46年度第3回)議事録
2. NEUDADA, CINDA, RENDA等の資料
3. ENDF/B-II処理コード関係資料
4. プダベスト会議のプログラム
5. IAEAシンポジウム資料

議 事

1 前回議事録の確認

訂正は次のとおり

- | | | | | |
|-----|-----|--------------------|--------|----------------------------------|
| P.2 | 17行 | c.s. curue | —————→ | c.s. curve |
| P.3 | 6行 | 各種毎に | —————→ | 核種毎に |
| | 13行 | 非公開 | —————→ | 非公開 |
| | 16行 | eualuation | —————→ | evaluation |
| | 27行 | Non Destructive | —————→ | Non Destructive |
| | 7行 | JENDLの作成は委員会の仕事 | —————→ | JENDLの改訂版
作成は委員会の仕事 |
| | 8行 | 原型版の作成と …… を行ない。 | —————→ | トル |
| | 26行 | データの比較を行い、炉定数を作成する | —————→ | データの比較を行い、共通に使える部分の
炉定数を作成する。 |
| P.5 | 10行 | 各データのセンターの | —————→ | 核データセンターの |
| P.6 | 12行 | 本委員 | —————→ | 委員 |

2 CCDNの活動状況（岡本氏）

一昨年9月からCCDNに出向し、NEUDADAに実験データを格納し、検索する仕事に従事している岡本氏から、CCDNの活動状況について、説明報告が行われた。

3 原研内W.G.の報告（塚田委員）

ENDF/B-IIの処理コードを整備するため、昨年7月原研内にW.G.が作られ活動を行って来た。この程整備を終了し、当初の目的を達成したためW.G.は解散することになった。資料2により、各処理コードの説明がなされた。

4 47年度実行説明

4-1 核データ専門部会

各 W.G. とも、昨年度からの作業を継続していく。

- 核データ評価 W.G.

^{235}U , ^{238}U , ^{239}Pu , ^{240}Pu , Fe, Ni, Cr, O の評価

- 熱中性子散乱 W.G.

文献調査

- 核データ検索システム W.G.

NESTOR の利用, 評価済みデータと実験データの比較

- Fast F.P.W.G.

FP 領域での Yield データ, σ_c , σ_{total} , σ_{inel} , σ_{el} 等の評価。Yield $\times \sigma_c$ の大きい核種に重点を置く。

4-2 炉定数専門部会

- Fast F.P. W.G.

チェーン追跡を行う。このため σ_c を求める。また σ_s と散乱マトリックスを求めるための検討を行う。

- 炉定数評価 W.G.

UKNDL ('71 か '72), ENDF/B-III, KEDAK の比較を行う。

- Mechanical evaluation W.G.

SPLINE に CRT をつける。

原研 230-35 に CRT がついているが、今年度 230-60 に移るのでデータを格納してあるテープからそのまま使えるようにする。

5 アナウンス (西村委員)

5-1 ブダベスト会議の件

今年 7 月 31 ~ 8 月 5 日にブダベストで "Conference on Nuclear Structure Study with Neutrons" が開かれる (資料 4)

5-2 "International Working Group on Compilation, Evaluation and Dissemination of Nuclear Structure and Reaction Data(IWGNSR)" 第1回会合に、核研の坂井氏が出席した。坂井氏の報告書の概要について説明があった。

報告書をJNDCニュースにのせることについて坂井氏の了解をとることになった。

5-3 "International Symposium on the Intercommunication between Users, Compilers and Evaluators of Nuclear Data for Applications in Science and Technology" が1973年3月12~16日、IAEA主催で行なわれる。(資料5)

5-4 核融合関係 RENDAの件

表記の件について、Priorityに関するIAEAのNuclear Data Sectionが提案をしてくれている。これに対するコメントを出すよう要請されているので、関心のある方は、西村委員まで連絡して欲しい。

5-5 ECSIL

UCRL-50400のVol.10が入手できた。これはLawrence Radiation Laboratoryで使っている核データの格納検索システムECSILに入っている中性子関係の実験データをリストアップしたものである。

5-6 EANDCのS I ローンについて

希望者は1ヶ月以内に塚田委員まで連絡して欲しい。

5-7 Different Formatsの変換に関する委員会について

昨年EANDCで"The problem of conversion between the different formats and its involvements in the field of manipulation of data files."について、ワーキンググループの必要性が提案され、本年6月7-9、CNENのボローニアで開催される。ワーキンググループの報告書はEANDCレポートとして発行される。